

2017年2月14日

各 位

会 社 名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 光一郎
(コード番号：8750 東証第一部)

2017年3月期 第3四半期決算補足資料 (第一生命ホールディングス株式会社分)

2017年2月14日

第一生命ホールディングス 2017年3月期第3四半期決算を発表

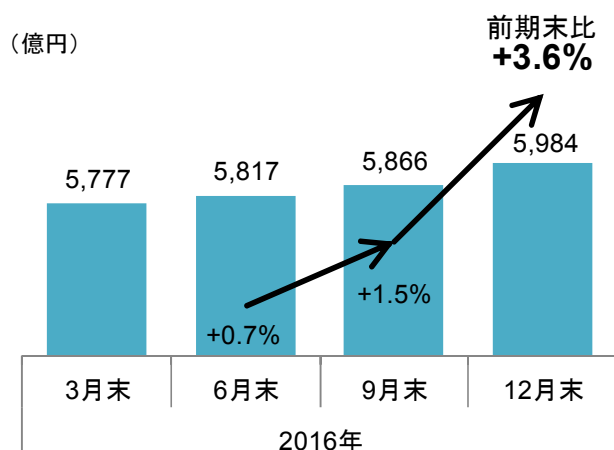
第一生命ホールディングス株式会社(社長: 渡邊 光一郎)は、2月14日に2017年3月期第3四半期決算を発表しました。以下は社長の渡邊からステークホルダーの皆さまへのメッセージです。

2017年3月期第3四半期決算について

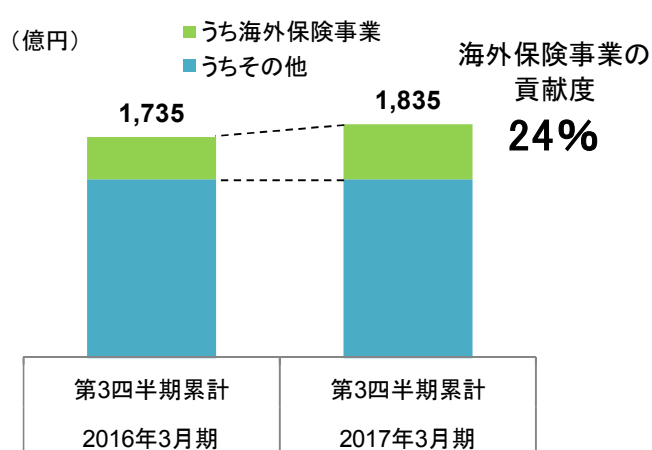
平素より、私ども第一生命グループをお引き立ていただき、ありがとうございます。

2016年11月の米国大統領選挙後は内外で金融環境が改善しましたが、国内金利は比較的緩やかな上昇にとどまりました。国内生命保険事業では引き続き、戦略的に一時払いの貯蓄性保険商品の販売を抑制し、商品ポートフォリオを保障性商品へシフトさせています。その結果として、第3四半期末の第三分野(医療・介護保険など)保有契約年換算保険料は前期末比 3.6%増と伸びが加速しました。各社で運用収支が改善し、海外保険事業の利益貢献が堅調に拡大したこともあり、第一生命グループの連結決算は、前年同期比で減収のところ、同6%の増益となりました。

国内生保 第三分野保有契約年換算保険料の推移



親会社株主に帰属する四半期純利益



第一生命では、個人のお客さま向けの医療・介護保険の販売に加え、法人のお客さま向けに昨年9月から販売している経営者の介護等のリスクに備えることができる保険の販売が好調です。また、ネオファースト生命ではビッグデータを活用した健康寿命の延伸に貢献する革新的な商品を投入し、販売を伸ばしています。海外ではTALの個人向け販売が堅調に推移しているほか、第一生命ベトナムでも個人代理人チャネルの強化やチャネルの多角化取組みが奏功し、シェアの拡大が続いています。こうした取組みの結果、第一生命グループの新契約年換算保険料は前年同期比 1.3%増、為替影響を除けば同 3.3%増となりました。

2017年3月期業績予想について

当第3四半期累計の第一生命グループ業績は通期予想に対して高い進捗を見せていますが、米国の新政権による施政方針を巡り不透明感が強まっており、内外の金融環境は今後も大きく変動する可能性が高いと考えています。引き続き、金融環境がグループ損益にどのような影響を与えるかを慎重に見守る必要があり、通期業績予想は据え置きとしています。

最後に

2016年12月28日のプレスリリースでお伝えしたとおり、当社は指名諮問委員会および監査等委員会を経て、2017年4月1日付けで代表取締役会長を渡邊光一郎、代表取締役社長を稲垣精二とすることを取締役会において決議しました。2016年10月1日をもって第一生命グループは持株会社体制に移行しており、新体制で更なる成長を具体化する機会と判断したものです。

第一生命グループは、2010年4月の株式会社化を「新創業」と位置付け、以来、着実に成長への軌道を築いてきました。中期経営計画「D-Ambitious」2年目にあたる今期も、先人から受け継いできた絶えざる創造への挑戦をする「志」を、さらに高く大きな「Ambitious」へと強く持ち、大胆かつスピード感を持った事業展開によってステークホルダーの期待に応える持続的価値創造を実現していきます。今後とも皆さまのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(決算の詳細につきましては、次頁からの解説をご覧ください。)

2017年3月期第3四半期決算解説

第一生命グループ業績ハイライト

(億円)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計(a)	前年同期比		2016/11/14 発表予想(b)	進捗率(a/b)
			△6,902	△13%		
連結経常収益	54,189	47,286	△6,902	△13%	62,770	75%
連結経常利益	3,247	3,265	+18	+1%	4,060	80%
連結純利益 ⁽¹⁾	1,735	1,835	+99	+6%	1,970	93%

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

(1) 連結業績ハイライト

第一生命グループの2017年3月期第3四半期における連結経常収益は4兆7,286億円(前年同期比13%減)となりました。低金利環境を受けて国内生命保険事業で一時払の貯蓄性保険商品の販売を抑制したことが減収の主な要因です。連結経常利益は同1%増の3,265億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6%増の1,835億円となりました。米国大統領選以降、内外の金融環境は改善に向かいました。これを受けグループ各社で運用収支が改善し、中でも海外保険事業における各社の利益貢献が拡大したことが増益の要因です。また四半期純利益にはアセットマネジメントOneの再編に関わる持分変動利益が約125億円含まれています。2016年11月14日に発表した通期予想に対して、経常利益・純利益いずれも80%、93%と高い進捗を示しています。

第一生命グループ セグメント業績ハイライト

	国内生命保険事業			海外保険事業			その他事業			連結		
	(億円)			(億円)			(億円)			(億円)		
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	46,266	38,286	△17%	8,148	9,286	+14%	244	216	△11%	54,189	47,286	△13%
セグメント利益	2,812	2,682	△5%	432	594	+38%	37	34	△9%	3,247	3,265	+1%

(2) セグメント業績ハイライト

国内生命保険事業は一時払の貯蓄性保険商品の販売を抑制していることから減収、第一フロンティア生命で最低保証に係る責任準備金繰入額の変動を抑制するためのヘッジ費用が拡大したこともあって減益となりました。海外保険事業はプロテクト社の連結期間が1ヶ月長いことや、運用収支の改善を受け、増収・増益となりました。その他事業は一部子会社・関連会社が連結対象から外れたことや、ジャナス・キャピタル・グループの持分利益が為替の影響で減少したことにより、減収・減益となりました。

第一生命グループ各社の業績

	【第一生命】 ⁽¹⁾			【第一フロンティア生命】			【米プロテクトティブ】 ⁽²⁾		【豪TAL】 ⁽²⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万米ドル)		(百万豪ドル)			(億円)		
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計 (2-9月)	17/3期 3Q累計 (1-9月)	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	31,038	29,591	△5%	15,203	8,669	△43%	4,910	6,723	2,378	2,718	+14%	54,189	47,286	△13%
経常利益	2,367	2,322	△2%	498	403	△19%	276	474	128	159	+24%	3,247	3,265	+1%
純利益 ⁽³⁾	1,055	1,017	△4%	434	337	△22%	187	320	99	113	+13%	1,735	1,835	+6%

- (1) 持株会社体制への移行に伴い、第一生命の業績については、旧第一生命および第一生命分割準備会社の上半期業績と、現第一生命の第3四半期業績を単純合算した未監査の数値を記載しています。
- (2) 米プロテクトティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。連結の際には、それぞれ1米ドル=119.96円(16/3期3Q)、101.12円(17/3期3Q)、1豪ドル=87.92円(16/3期3Q)、84.36円(17/3期3Q)で円換算しています。
- (3) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

(3) グループ各社の業績

第一生命

一時払商品の販売を抑制したことなどにより、保険料等収入が前年同期比 10%減少したことを主因として経常収益は減少しました。金融環境の改善を背景にキャピタル損益は拡大しましたが、前年同期比では円高水準となったことから利息配当金収入は減少しました。また、国内販売陣容の強化に向けた先行投資もあり、経常利益・純利益は微減となりました。

第一フロンティア生命

円建て商品と外貨建て商品の販売がともに減速し、保険料等収入が前年同期比 50%減となったことを要因として、経常収益は減少しました。内外の金利上昇を受け、責任準備金の一部取り崩しが可能となり、上半期の経常損失から経常利益に転じましたが、前年同期比では減益となりました。

プロテクトティブ

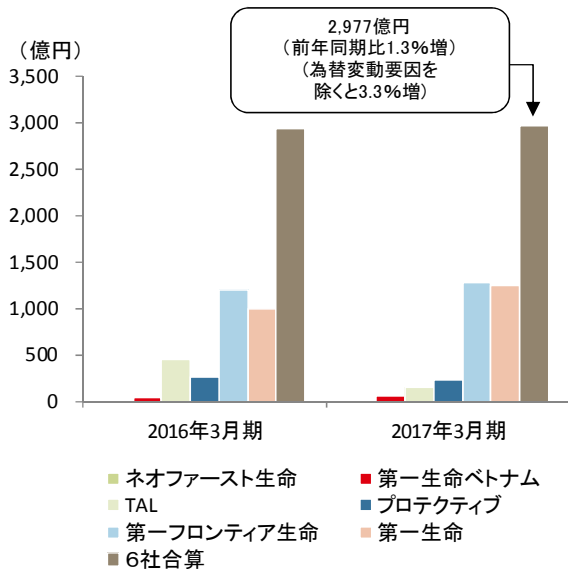
前年同期が8ヶ月間であるため、前年比較はありませんが、通期の純利益予想である 300 百万米ドルを9ヶ月で超過する良好な実績となりました。金融環境の改善を受けた運用収支の改善が貢献していますが、資産運用に関する利益には、同社が契約する再保険会社に帰属すべき一時的な利益が含まれています。この利益は、今後 10 年以上かけて再保険会社へ分割して支払を行います。

TAL

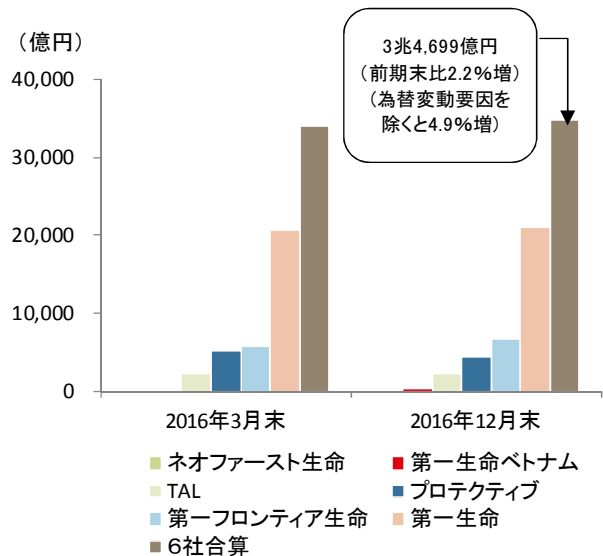
保険料等収入は、昨年度下半期に獲得した団体契約が貢献し、現地通貨建てで前年同期比 11%増加、経常収益は同 14%増加となりました。個人保険において保険金等支払が増加しましたが、良好な金融環境を受けた運用収支の改善により相殺し、純利益は同 13%増となりました。

(4) グループ営業業績

第3四半期累計・新契約年換算保険料の推移



保有契約年換算保険料の推移



第一生命グループの契約動向を、年換算保険料を用いて説明します。いずれも現地通貨建ての実績です。

第一生命の新契約は、平準払個人年金や医療保険・介護保険の販売が牽引し、前年同期比 25.7%の増加となりました。また、第一フロンティア生命は、据置き期間の短い年金商品の販売が増加したため、同 6.5%増加しました。他方、TALは前年同期に大型の団体契約を獲得しており、当第3四半期累計はその反動減により、同 64.1%減となりました。

以上から、グループ全体の新契約は同 1.3%増、為替変動要因を除けば同 3.3%増加しました。保有契約は前期末比 2.2%増、為替変動要因を除けば同 4.9%増とプラス成長を維持しました。

(5) ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率とは、通常の予測を超えて発生するリスクに対して「支払余力」がどの程度カバーされているかを示す行政監督上の指標のひとつです。第一生命のソルベンシー・マージン比率は、841.2%となりました。2016年10月に会社分割により持株会社体制へ移行した際、株主資本の一部を第一生命ホールディングスに残し、その子会社であり、引き続き国内生命保険事業を手掛ける第一生命が設立されています。こうした経緯から従前の第一生命に比べてソルベンシー・マージン比率は低くなっています。連結ソルベンシー・マージン比率は、765.9%でした。

(6) グループ・エンベディッド・バリュー

	16/9末	16/12末	増減
グループ・エンベディッド・バリュー	44,231	約51,100	約+6,900

エンベディッド・バリューとは、生命保険会社の企業価値を表す指標のひとつであり、既の実現した利益の蓄積である「修正純資産」と、既存の保険契約から将来的に生じる利益の見積もり額である「保有契約価値」の合計で示されます。

第一生命グループのエンベディッド・バリューは 5.1 兆円となりました。金融環境の改善を背景に9月末の 4.4 兆円から約 6,900 億円の改善となりました。

(7) 業績予想

2017 年3月期の業績予想は、据え置きとしました。今後の内外の金融・経済環境の変化がグループ損益に与える影響を見極める必要があるためです。

2017 年3月期の配当予想も前年比5円増配となる 40 円を据え置いています。

連結業績予想

	2016年3月期		2017年3月期	増減
	(実績)	(実績)	(予想)	
経常収益	73,339	73,339	62,770	△ 10,569
経常利益	4,181	4,181	4,060	△ 121
純利益 ^(※)	1,785	1,785	1,970	+184
	(円)			
1株当たり ^(※)				
純利益	150.53	150.53	167.64	+17.11
1株当たり				
期末配当金	35	35	40	+5

(※) 本表における純利益とは、親会社株主に帰属する当期純利益をさします。また、1株当たり純利益の計算に際しては、株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する当社株式、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-ship®)により第一生命保険従業員持株会専用信託が所有する当社株式及び自己名義株式を除いています。

(要約)連結損益計算書・連結貸借対照表

(億円)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	増減
経常収益	54,189	47,286	△6,902
保険料等収入	41,663	32,451	△9,211
資産運用収益	9,814	11,872	+2,058
うち利息・配当金等収入	7,892	7,869	△22
うち有価証券売却益	1,614	1,772	+157
うち特別勘定資産運用益	-	972	+972
その他経常収益	2,711	2,962	+250
経常費用	50,942	44,021	△6,920
うち保険金等支払金	28,763	26,412	△2,351
うち責任準備金等繰入額	10,569	7,262	△3,307
うち資産運用費用	3,837	2,569	△1,268
うち有価証券売却損	445	689	+244
うち有価証券評価損	32	116	+84
うち金融派生商品費用	452	310	△142
うち為替差損	1,119	586	△533
うち特別勘定資産運用損	509	-	△509
うち事業費	4,855	4,670	△184
経常利益	3,247	3,265	+18
特別利益	2	171	+169
特別損失	175	312	+136
契約者配当準備金繰入額	722	660	△61
税金等調整前四半期純利益	2,351	2,463	+112
法人税等合計	615	628	+13
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,735	1,835	+99

(億円)

	16/3末	16/12末	増減
資産の部合計	499,249	511,791	+12,542
うち現預金・コール	9,603	11,371	+1,768
うち買入金銭債権	2,392	2,148	△244
うち有価証券	415,600	429,330	+13,729
うち貸付金	37,155	35,128	△2,026
うち有形固定資産	11,788	11,629	△158
うち繰延税金資産	13	0	△13
負債の部合計	469,919	481,143	+11,224
うち保険契約準備金	438,940	435,625	△3,314
うち責任準備金	429,225	426,531	△2,693
うち社債	4,856	9,054	+4,197
うちその他負債	14,866	23,164	+8,298
うち退職給付に係る負債	4,438	4,426	△12
うち価格変動準備金	1,552	1,692	+139
うち繰延税金負債	2,707	3,300	+593
純資産の部合計	29,329	30,647	+1,317
うち株主資本合計	11,292	12,543	+1,250
うちその他の包括利益累計額合計	18,026	18,091	+64
うちその他有価証券評価差額金	18,400	19,907	+1,506
うち土地再評価差額金	△164	△190	△26

- (1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社

経営企画ユニット IRグループ

電話:050-3780-6930

免責事項

本資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2017年3月期 第3四半期決算報告

2017/2/14

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings



- 当第3四半期累計の営業業績は、国内金利の上昇が限定的な中、国内生命保険事業では引き続き、一時払商品の販売を抑制。一方で、経営者向けの保障性商品や平準払商品の販売は良好に推移し、グループの新契約は前年同期比で増加。
- 第一生命の純利益は、金融環境の改善によりキャピタル損益が増加も、順ざやが減少し、通期予想に対して想定通りの進捗。連結純利益は、各社の運用収支改善、海外保険事業の利益貢献拡大に加え、一時的な利益押し上げ要因もあり、通期予想に対して高い進捗。
- 2016年12月末のグループ・エンベディッド・バリュー(試算値)は、株高と金利上昇の影響により約5.1兆円と9月末から増加。

第一生命グループ業績 - 業績ハイライト



Dai-ichi Life
Holdings

- 連結経常収益は、低金利環境を踏まえた戦略的な販売抑制を行う中、通期予想に対して想定線
- 連結経常利益、親会社株主に帰属する純利益は、高い進捗

(億円)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計(a)	前年同期比		2016/11/14 発表予想(b)	進捗率(a/b)
			△	%		
連結経常収益	54,189	47,286	△6,902	△13%	62,770	75%
第一生命 ⁽¹⁾	31,038	29,591	△1,446	△5%	37,960	78%
連結経常利益	3,247	3,265	+18	+1%	4,060	80%
第一生命 ⁽¹⁾	2,367	2,322	△44	△2%	3,240	72%
連結純利益 ⁽²⁾	1,735	1,835	+99	+6%	1,970	93%
第一生命 ⁽¹⁾	1,055	1,017	△37	△4%	1,330	77%

(1) 持株会社体制への移行に伴い、第一生命の業績については、旧第一生命および第一生命分割準備会社の上半期業績と、現第一生命の第3四半期業績を単純合算した未監査の数値を記載しています。詳しくは28ページをご覧ください。

(2) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 - 連結主要業績



Dai-ichi Life
Holdings

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	増減
経常収益	54,189	47,286	△6,902
保険料等収入	41,663	32,451	△9,211
資産運用収益	9,814	11,872	+2,058
うち利息・配当金等収入	7,892	7,869	△22
うち有価証券売却益	1,614	1,772	+157
うち特別勘定資産運用益	-	972	+972
その他経常収益	2,711	2,962	+250
経常費用	50,942	44,021	△6,920
うち保険金等支払金	28,763	26,412	△2,351
うち責任準備金等繰入額	10,569	7,262	△3,307
うち資産運用費用	3,837	2,569	△1,268
うち有価証券売却損	445	689	+244
うち有価証券評価損	32	116	+84
うち金融派生商品費用	452	310	△142
うち為替差損	1,119	586	△533
うち特別勘定資産運用損	509	-	△509
うち事業費	4,855	4,670	△184
経常利益	3,247	3,265	+18
特別利益	2	171	+169
特別損失	175	312	+136
契約者配当準備金繰入額	722	660	△61
税金等調整前四半期純利益	2,351	2,463	+112
法人税等合計	615	628	+13
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,735	1,835	+99

連結貸借対照表(要約)

(億円)

	16/3末	16/12末	増減
資産の部合計	499,249	511,791	+12,542
うち現預金・コール	9,603	11,371	+1,768
うち買入金銭債権	2,392	2,148	△244
うち有価証券	415,600	429,330	+13,729
うち貸付金	37,155	35,128	△2,026
うち有形固定資産	11,788	11,629	△158
うち繰延税金資産	13	0	△13
負債の部合計	469,919	481,143	+11,224
うち保険契約準備金	438,940	435,625	△3,314
うち責任準備金	429,225	426,531	△2,693
うち社債	4,856	9,054	+4,197
うちその他負債	14,866	23,164	+8,298
うち退職給付に係る負債	4,438	4,426	△12
うち価格変動準備金	1,552	1,692	+139
うち繰延税金負債	2,707	3,300	+593
純資産の部合計	29,329	30,647	+1,317
うち株主資本合計	11,292	12,543	+1,250
うちその他の包括利益累計額合計	18,026	18,091	+64
うちその他有価証券評価差額金	18,400	19,907	+1,506
うち土地再評価差額金	△164	△190	△26

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。

第一生命グループ業績 - セグメント別業績



Dai-ichi Life Holdings

	国内生命保険事業 (億円)			海外保険事業 (億円)			その他事業 (億円)			連結 ⁽¹⁾ (億円)		
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	46,266	38,286	△17%	8,148	9,286	+14%	244	216	△11%	54,189	47,286	△13%
セグメント利益	2,812	2,682	△5%	432	594	+38%	37	34	△9%	3,247	3,265	+1%

- 経常収益: 一時払商品の販売を戦略的に抑制したため、保険料等収入が減少
- セグメント利益: 第一フロンティア生命において変額保険の最低保証にかかる責任準備金の入繰りを抑制するためのヘッジ費用増加で減少

- 経常収益: プロテクティブの連結期間が前年同期より1ヶ月長いことや、同社の資産運用収益が好調だったことで増加
- セグメント利益: プロテクティブが買収した定期保険ブロックが利益貢献を開始したことや、同社の資産運用収支が好調だったことで増加

- ジャナスの持分法利益が円高により減少したことや、第一生命情報システム(旧第一生命の子会社)を第3四半期より連結対象外としたことで減少

(1) 各セグメント利益の合計額と連結損益計算書上の経常利益の違いは、主に当社が計上した関係会社からの受取配当金を消去したことによるものです。

第一生命グループ業績 - グループ各社の業績



Dai-ichi Life
Holdings

	【第一生命】 ⁽¹⁾			【第一フロンティア生命】			【米プロテクトティブ】 ⁽²⁾		【豪TAL】 ⁽²⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万米ドル)		(百万豪ドル)			(億円)		
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計 (2-9月)	17/3期 3Q累計 (1-9月)	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	31,038	29,591	△5%	15,203	8,669	△43%	4,910	6,723	2,378	2,718	+14%	54,189	47,286	△13%
保険料等収入	21,009	18,937	△10%	14,517	7,238	△50%	3,373	3,973	2,229	2,473	+11%	41,663	32,451	△22%
資産運用収益	7,786	8,011	+3%	685	1,430	+109%	1,247	2,400	21	183	+738%	9,814	11,872	+21%
経常費用	28,671	27,268	△5%	14,704	8,265	△44%	4,633	6,249	2,249	2,559	+14%	50,942	44,021	△14%
保険金等支払金	20,060	17,180	△14%	3,942	4,215	+7%	2,910	3,540	1,440	1,690	+17%	28,763	26,412	△8%
責任準備金等繰入額	1,318	2,451	+86%	8,505	3,060	△64%	464	1,609	220	246	+12%	10,569	7,262	△31%
資産運用費用	1,796	1,762	△2%	1,427	541	△62%	605	348	47	32	△32%	3,837	2,569	△33%
事業費	2,959	3,087	+4%	743	404	△46%	498	581	459	504	+10%	4,855	4,670	△4%
経常利益	2,367	2,322	△2%	498	403	△19%	276	474	128	159	+24%	3,247	3,265	+1%
特別利益	2	46	+2,124%	--	--	--	0	0	--	--	--	2	171	+7,543%
特別損失	154	287	+86%	20	24	+18%	--	0	0	--	--	175	312	+78%
純利益 ⁽³⁾	1,055	1,017	△4%	434	337	△22%	187	320	99	113	+13%	1,735	1,835	+6%

(1) 持株会社体制移行に伴う第一生命の考え方につきましては、詳しくは28ページをご覧ください。

(2) 米プロテクトティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。

連結の際には、それぞれ1米ドル=119.96円(16/3期3Q)、101.12円(17/3期3Q)、1豪ドル=87.92円(16/3期3Q)、84.36円(17/3期3Q)で円換算しています。

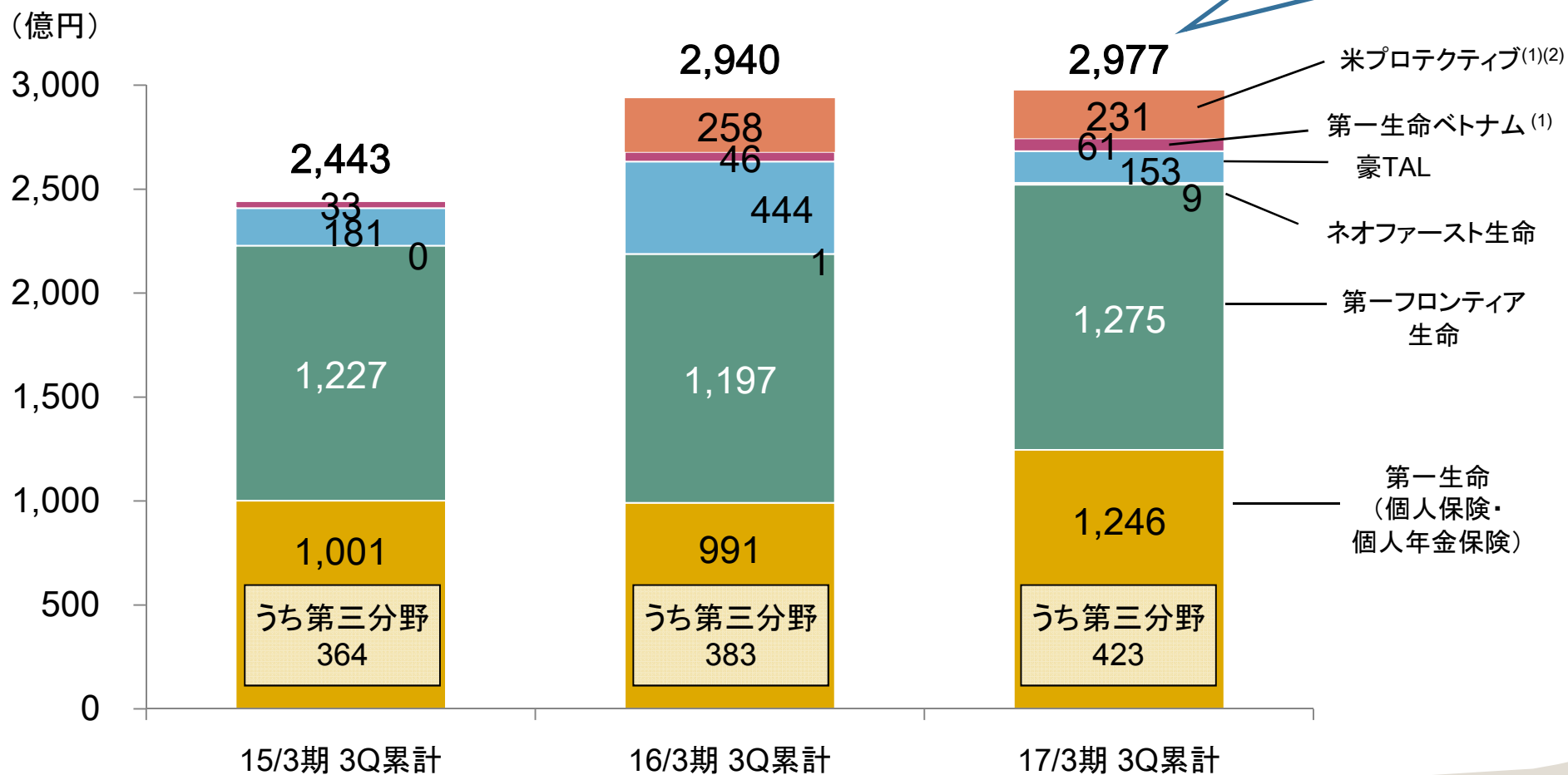
(3) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)



Dai-ichi Life Holdings

第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 米プロテクトティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

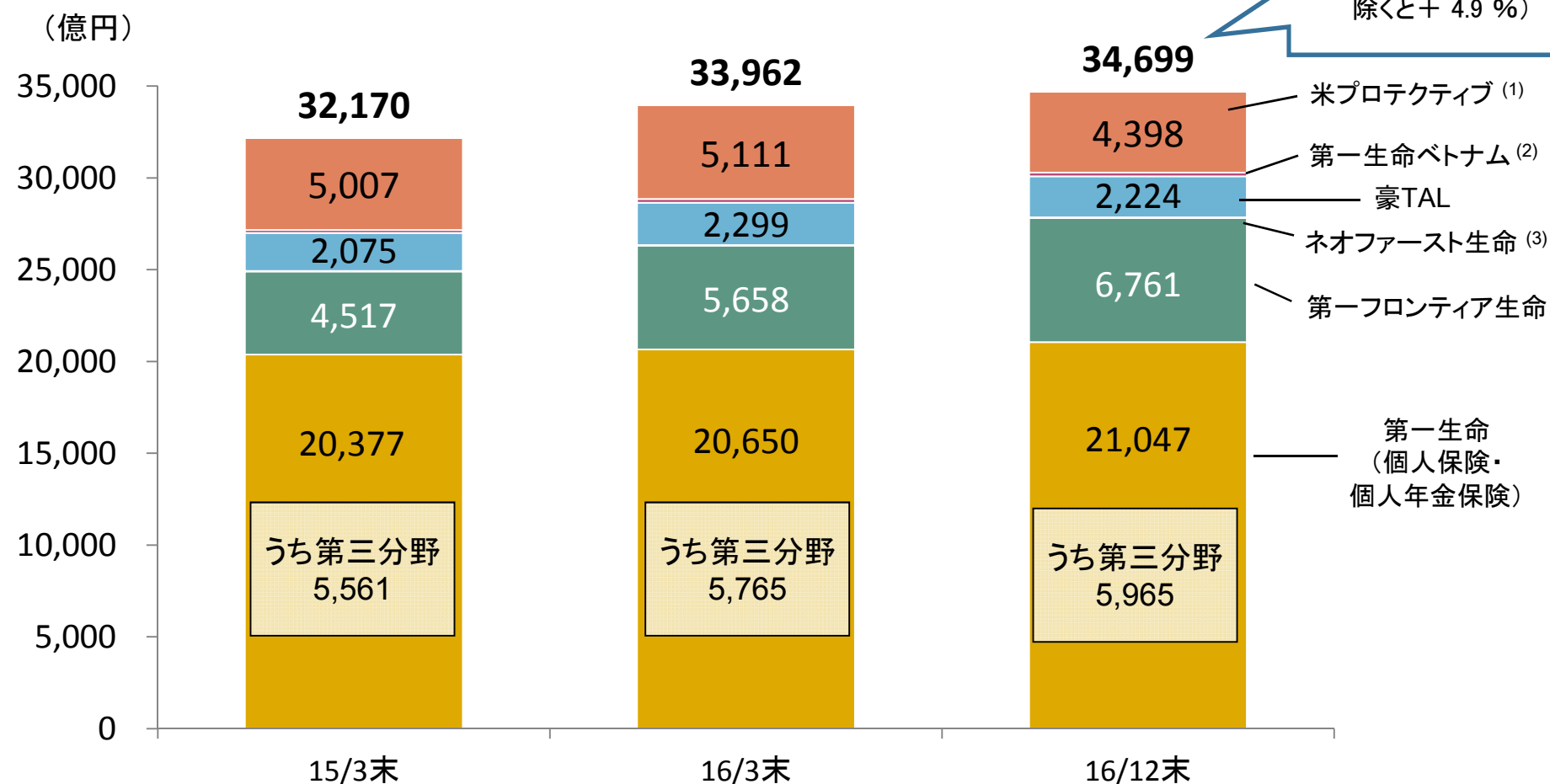
(2) 米プロテクトティブの実績は、16/3期3Q累計(8ヶ月間)、17/3期3Q累計(9ヶ月間)のみを記載しています。

第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)



Dai-ichi Life Holdings

第一生命グループの保有契約年換算保険料

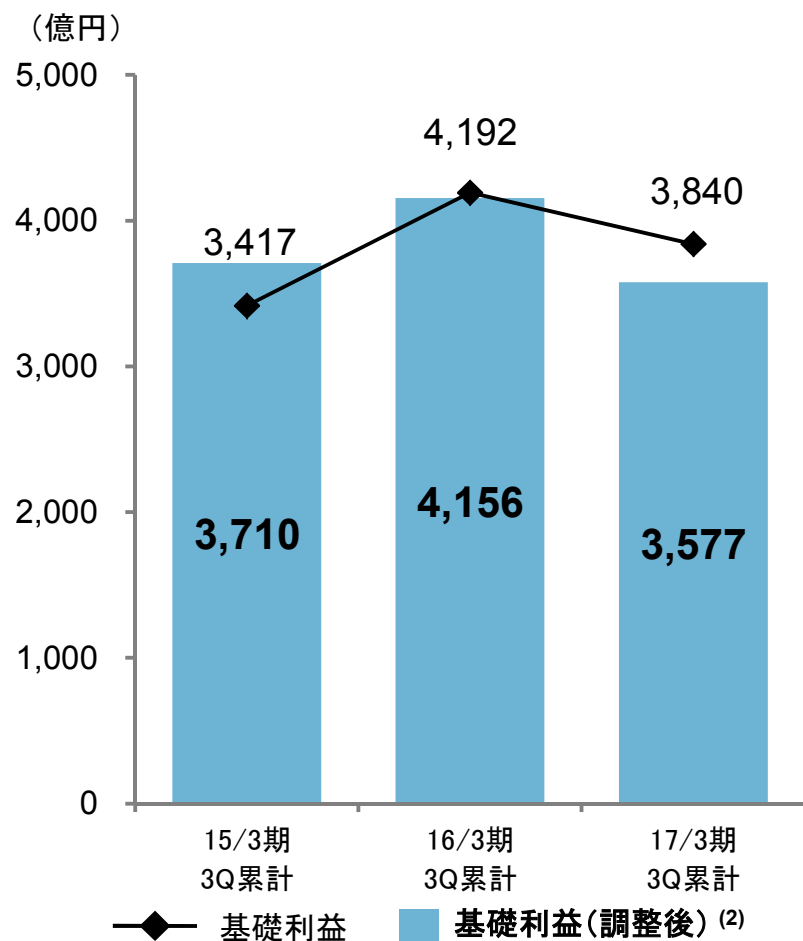


(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。
 (2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。15/3末、16/3末、16/12末の実績はそれぞれ155億円、203億円、219億円です。
 (3) ネオファースト生命の15/3末、16/3末、16/12末の実績は、それぞれ37億円、39億円、47億円です。

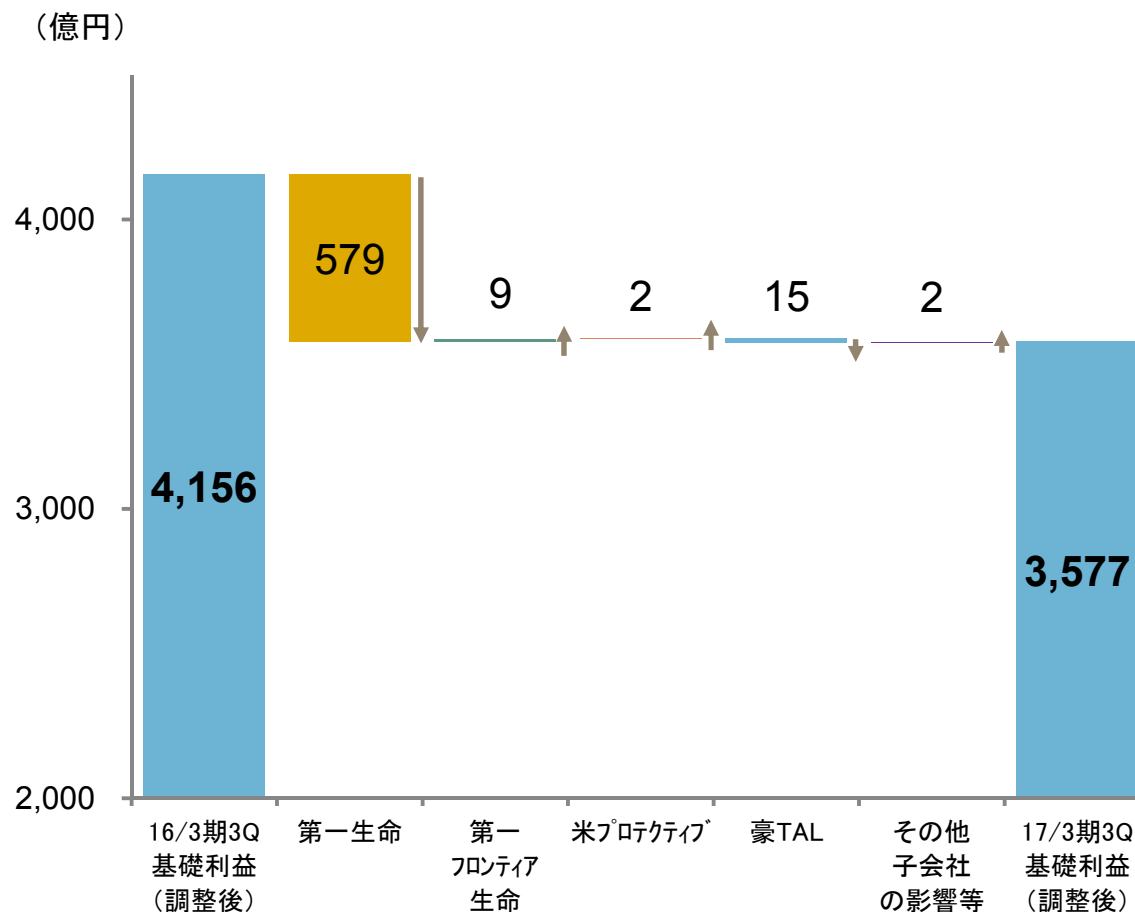


第一生命グループ業績 - 基礎利益の状況

基礎利益 (1)(2)



基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期3Q累計は7-12月の数値)の基礎利益、米プロテクトティブの税引前営業利益(16/3期3Q累計、17/3期3Q累計のみ)、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺

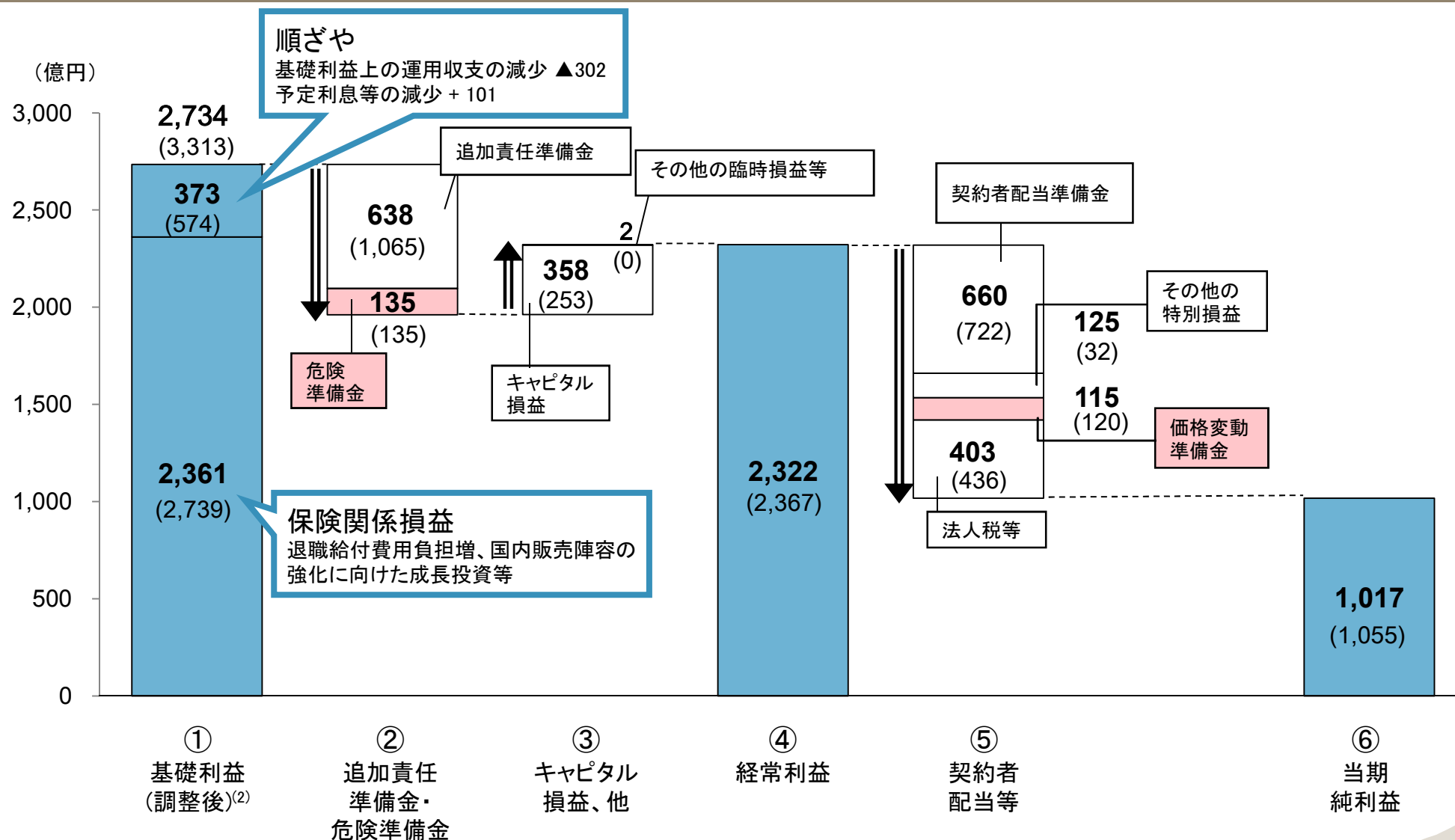
(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

第一生命業績 - 当期純利益の状況 (1)

第一生命の基礎利益の通期予想は、参考データ(P27)をご覧ください。



Dai-ichi Life Holdings



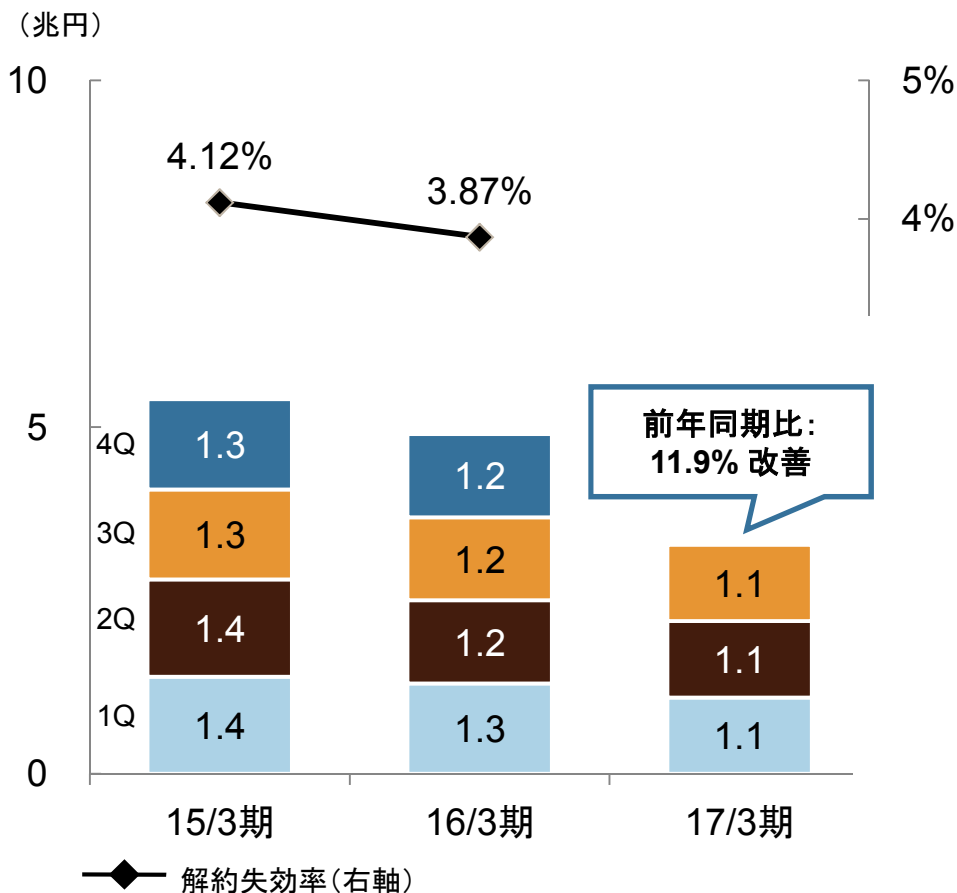
(1) 前年同期の数値を()内に記載しています。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く。

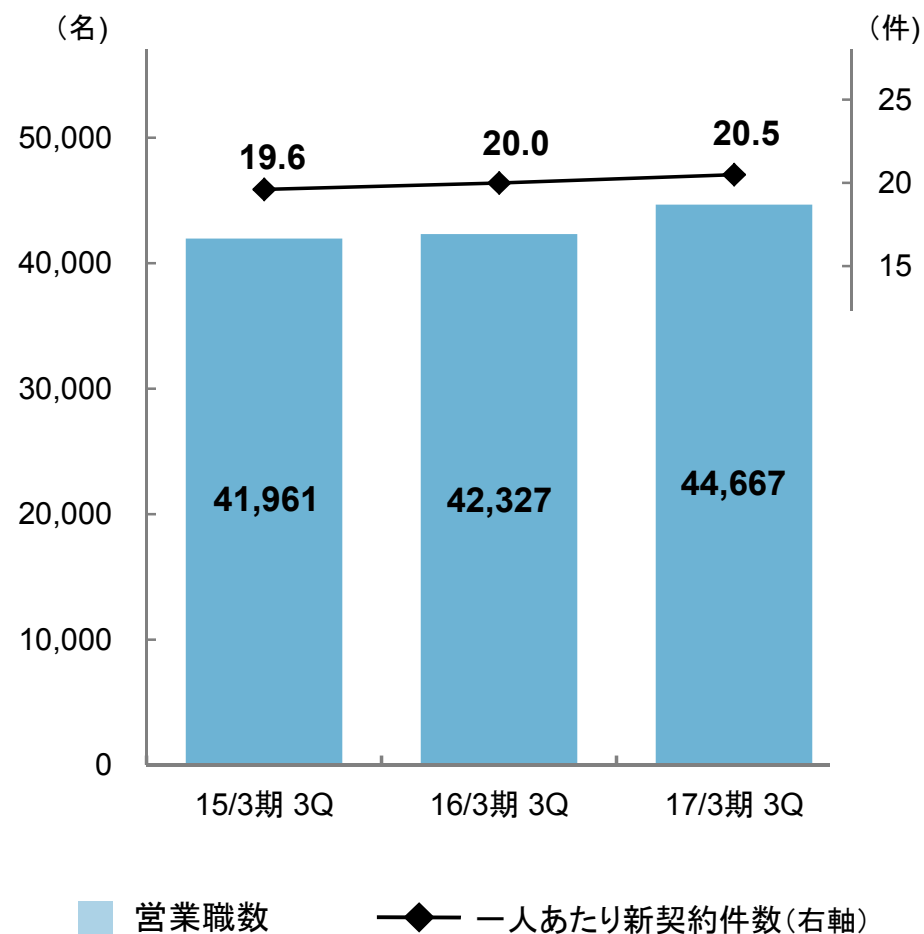


第一生命業績 - 解約失効高、営業職数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金)



営業職数および生産性⁽¹⁾⁽²⁾

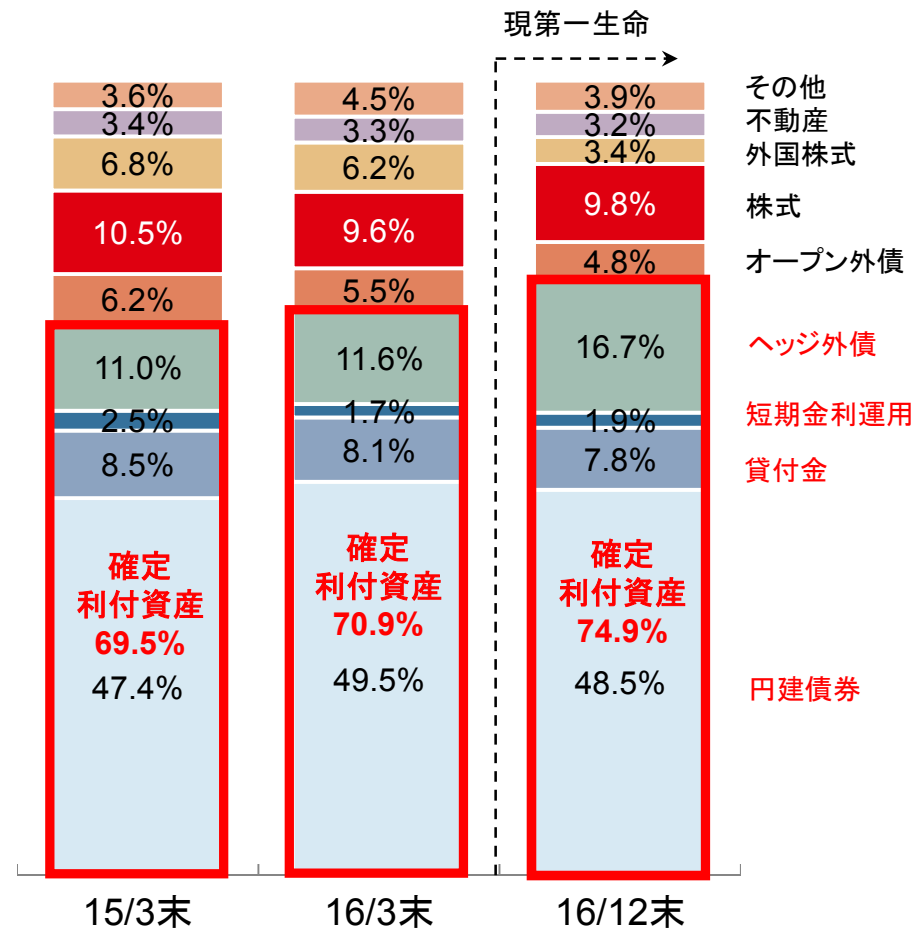


(1) 営業職については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

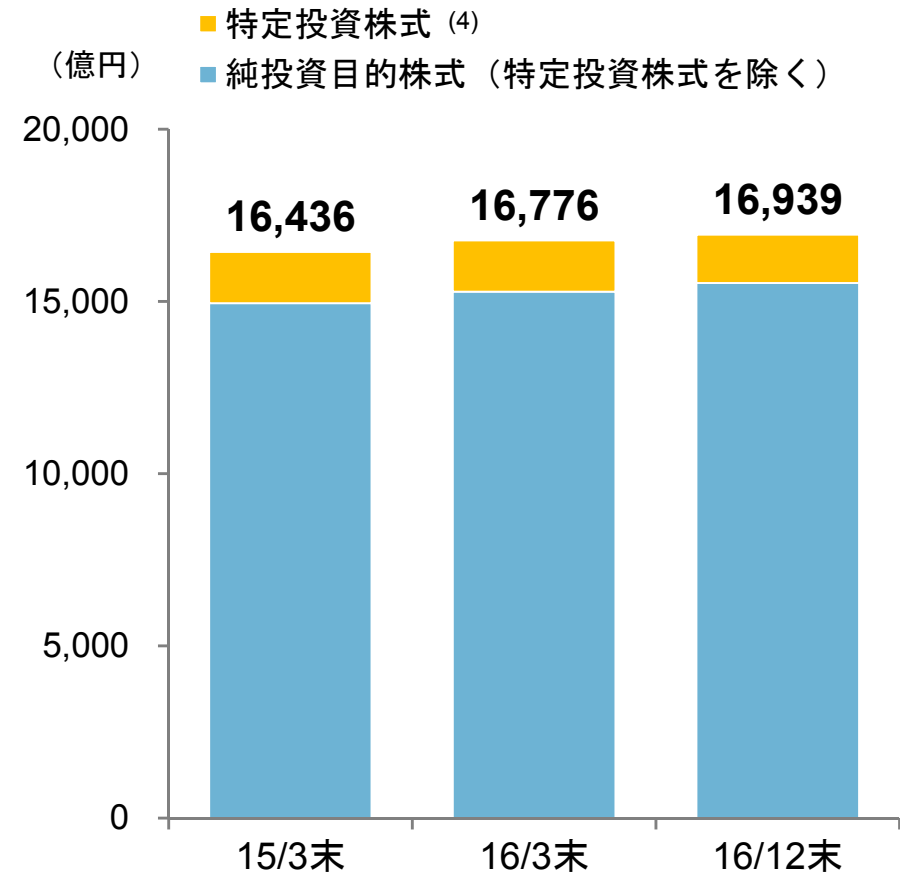


第一生命業績 - 一般勘定資産運用の状況

資産の構成(一般勘定) (1) (2)



国内株式の簿価 (3)



(1) 2016年10月1日付の持株会社体制移行に伴い、旧第一生命の傘下にあった子会社・関連会社株式の一部は第一生命ホールディングスに残置しております。上記は現第一生命の資産の構成を示しております。

(2) 貸借対照表価額ベース

(3) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。

(4) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

第一生命業績 - 健全性指標

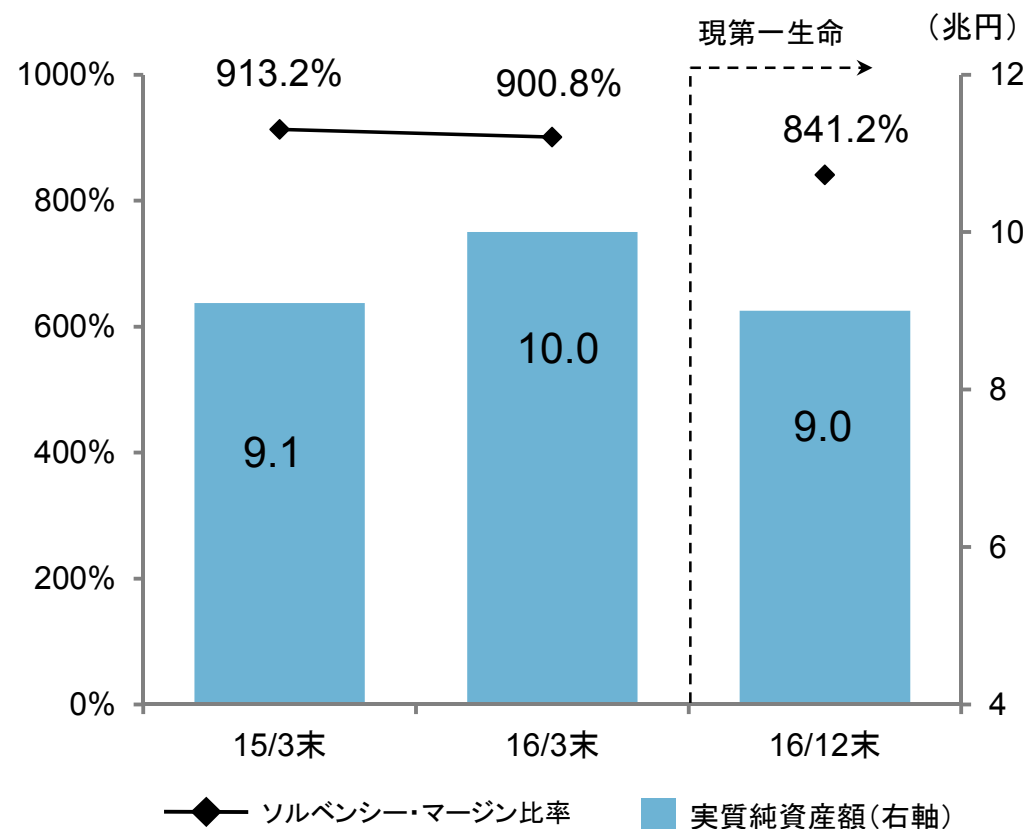


Dai-ichi Life Holdings

含み損益(一般勘定)

	現第一生命		増減
	16/3末	16/12末	
有価証券	62,120	57,403	△4,716
国内債券	40,229	35,029	△5,200
国内株式	13,128	16,106	+2,978
外国債券	6,787	4,750	△2,036
外国株式	1,720	1,115	△605
不動産	1,303	1,615	+312
その他共計	63,346	58,741	△4,604

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



＜参考＞ 第一生命ホールディングスの
連結ソルベンシー・マージン比率:
2016年12月末 765.9%

第一フロンティア生命業績



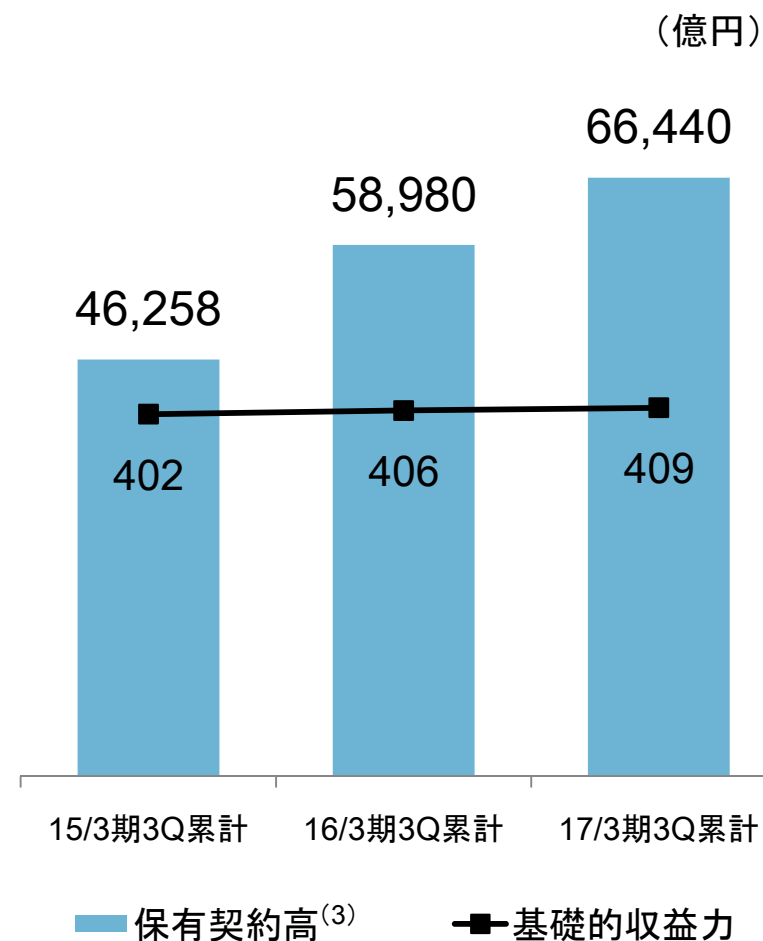
Dai-ichi Life Holdings

収支の状況

	(億円)	
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計
経常収益	15,203	8,669
うち保険料等収入 ⁽¹⁾	14,517	7,238
うち変額商品	1,278	387
うち円建定額商品	2,550	207
うち外貨建定額商品	9,153	5,704
うち資産運用収益	685	1,430
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	14,704	8,265
うち責任準備金等繰入額(△は戻入)	8,505	3,060
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(B)	167	△ 5
うち危険準備金繰入額(C)	△ 53	△ 8
うち資産運用費用	1,427	541
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	57	275
うち市場価格調整(MVA)に係る損益(E) ⁽²⁾	△ 198	△ 189
経常利益(△は損失)	498	403
純利益(△は損失)	434	337
純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	406	409

- (1) 定額部分と変額部分を組み合わせた商品は定額商品に分類
 (2) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く。

保有契約高と基礎的収益力



- (3) 保有契約高は各期間の末日時点

米プロテクティブ業績



Dai-ichi Life
Holdings

主要業績 (1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期 3Q累計 (2-9月)	17/3期 3Q累計 (1-9月)	
	実績	予算	実績
生保事業	29.6	58.3	36.9
買収事業	132.9	172.6	184.0
年金事業	133.3	166.5	164.1
ステーブルバリュース事業	28.2	21.5	44.3
アセットプロテクション事業	15.2	18.7	16.2
コーポレート	△ 16.8	△ 49.6	△ 60.2
税引前営業利益	322.6	388.0	385.5
キャピタル損益(運用収支)	△ 150.0	n.a.	183.3
キャピタル損益(金融派生商品損益)	104.3	n.a.	△ 95.3
法人税等	△ 89.8	△ 132.0	△ 152.8
当期利益	187.1	224.6	320.7

<参考>

	15/9末		16/9末
為替レート(米ドル)	119.96	n.a.	101.12

- (1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期3Q累計の実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。
- (2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

セグメント別 予算・実績比較

【生保事業】

- ・ 予算対比で危険差益が悪化したこと、責任準備金の見直しを行ったことにより、予算未達

【買収事業】

- ・ 予算対比で運用収支や事業費が良好だったが、危険差益の悪化により予算達成ペース

【年金事業】

- ・ 予算対比で変額年金に係るフィー収入が悪化した、危険差益は良好であり予算並の進捗

【ステーブルバリュース事業】

- ・ 予算対比で良好な利ざやと受託残高を確保したことで大幅に予算達成ペース

【アセットプロテクション事業】

- ・ 一部の商品において、予算対比で支払が増加し、予算未達ペース

豪TAL業績 (1)



Dai-ichi Life Holdings

主要業績

(百万豪ドル)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	2,378	2,718	+14%
うち保険料等収入 (2)	2,229	2,473	+11%
経常利益 (2)	128	159	+24%
純利益(A) (2)	99	113	+13%
修正額(B)	40	20	
うち負債割引率の変化	2	1	
うち償却負担	15	15	
その他	23	4	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	140	133	△5%

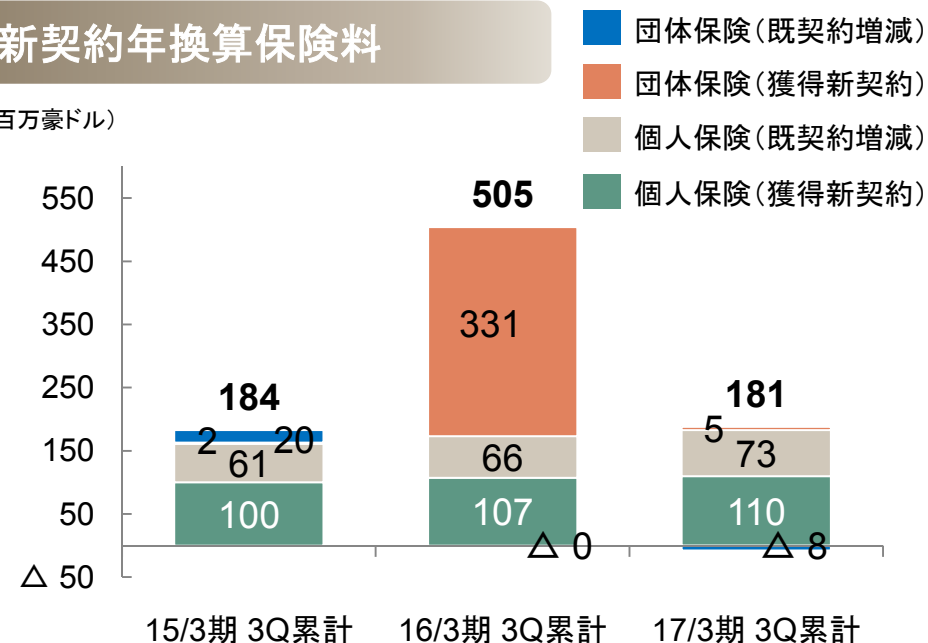
<参考>

	15/12末	16/12末
為替レート(豪ドル)	87.92円	84.36円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)。

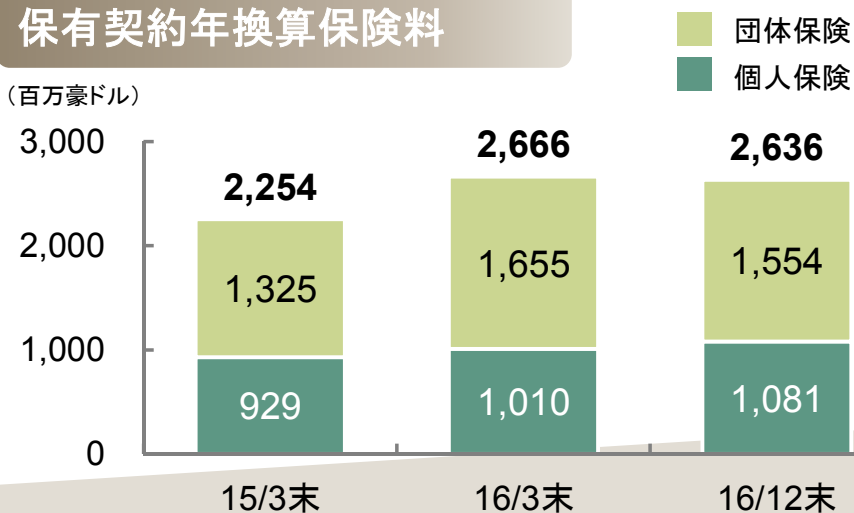
新契約年換算保険料

(百万豪ドル)



保有契約年換算保険料

(百万豪ドル)



第一生命グループ業績予想 - 2017年3月期業績予想



Dai-ichi Life
Holdings

- 通期予想に対して高い進捗となったが、内外の金融環境の不透明感は強まっているため、通期業績予想は据え置き。

	(億円)			(参考)
	16/3期	17/3期(予) ※2016/11/14 発表予想	増減	17/3期(予) ※2016/5/13 発表予想
連結経常収益	73,339	62,770	△ 10,569	64,600
第一生命単体 ⁽¹⁾	42,657	37,960	△ 4,697	37,960
第一フロンティア生命	19,675	12,180	△ 7,495	14,010
プロテクティブ(百万米ドル)	6,784	8,460	+ 1,675	8,460
TAL(百万豪ドル)	3,231	3,900	+ 668	3,900
連結経常利益	4,181	4,060	△ 121	4,060
第一生命単体	3,442	3,240	△ 202	3,240
第一フロンティア生命	296	210	△ 86	210
プロテクティブ(百万米ドル)	399	460	+ 60	460
TAL(百万豪ドル)	152	180	+ 27	180
連結純利益⁽²⁾	1,785	1,970	+ 184	1,970
第一生命単体	1,291	1,330	+ 38	1,330
第一フロンティア生命	243	150	△ 93	150
プロテクティブ(百万米ドル)	268	300	+ 31	300
TAL(百万豪ドル)	119	120	+ 0	120
1株当たり配当金	35円	40円	+5円	40円

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	5,351	4,600程度	△ 751	5,000程度
第一生命単体	4,654	3,500程度	△ 1,154	3,800程度

(1) 持株会社体制移行に伴う第一生命の考え方につきましては、詳しくは28ページをご覧ください。

(2) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。



- 2016年12月末のグループEEV(試算値)は、主に株高と金利上昇の影響により、9月末比で増加。

第一生命グループ(億円、試算値)

	16/9末	16/12末	増減
グループEEV	44,231	約51,100	約+6,900
対象事業(covers business)のEEV ⁽¹⁾	44,231	約53,100	約+8,900
修正純資産	62,283	約61,900	約△400
保有契約価値	△ 18,052	約△8,800	約+9,300
対象事業以外の純資産等に係る調整額 ⁽²⁾	-	約△2,000	約△2,000

2016年10月1日付けの持株会社体制移行に伴い、グループEEVの表示を変更(グループEEVの額には影響なし)

- (1) 対象事業(covers business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています。第一生命グループでは、従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付けの持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナムおよびこれらの子会社)を対象事業としました。
- (2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整額」には、2016年12月末における第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(12,087億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(▲14,577億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)



Dai-ichi Life
Holdings

第一生命(億円、試算値)

現第一生命

	16/9末	16/12末	増減
EEV	42,588	約41,900	約△700
修正純資産	64,620	約55,600	約△9,100
保有契約価値	△22,032	約△13,700	約+8,400

第一フロンティア生命(億円、試算値)

	16/9末	16/12末	増減
EEV	3,085	約3,200	約+100
修正純資産	2,258	約1,200	約△1,000
保有契約価値	827	約2,000	約+1,100

持株会社体制への移行に伴い、株主資本を第一生命ホールディングスへ残したことによる減少であり、実質的には増加。

プロテクティブ(億円、試算値)

	16/6末	16/9末	増減
EEV	5,220	約5,100	約△100
修正純資産	3,463	約3,700	約+200
保有契約価値	1,756	約1,400	約△400

16/6末EEV: 16/6末の為替レート(1米ドル=102.91円)を使用

16/9末EEV: 16/9末の為替レート(1米ドル=101.12円)を使用

TAL(億円、試算値)

	16/9末	16/12末	増減
EEV	2,515	約2,700	約+200
修正純資産	1,276	約1,400	約+200
保有契約価値	1,238	約1,200	約+0

16/9末EEV: 16/9末の為替レート(1豪ドル=77.04円)を使用

16/12末EEV: 16/12末の為替レート(1豪ドル=84.36円)を使用

プロテクティブ(百万米ドル、試算値)

	16/6末	16/9末	増減
EEV	5,072	約5,000	約△100
修正純資産	3,365	約3,600	約+300
保有契約価値	1,707	約1,400	約△300

TAL(百万豪ドル、試算値)

	16/9末	16/12末	増減
EEV	3,265	約3,200	約△100
修正純資産	1,657	約1,700	約+0
保有契約価値	1,608	約1,500	約△100

注1: ネオファースト生命についてはEEVの再測定を行わず、2016年9月末のEEVと同額としています。

注2: 第一生命ベトナムについてはEVの再測定を行わず、現地通貨ベースで2016年6月末のEVと同額としています。



EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

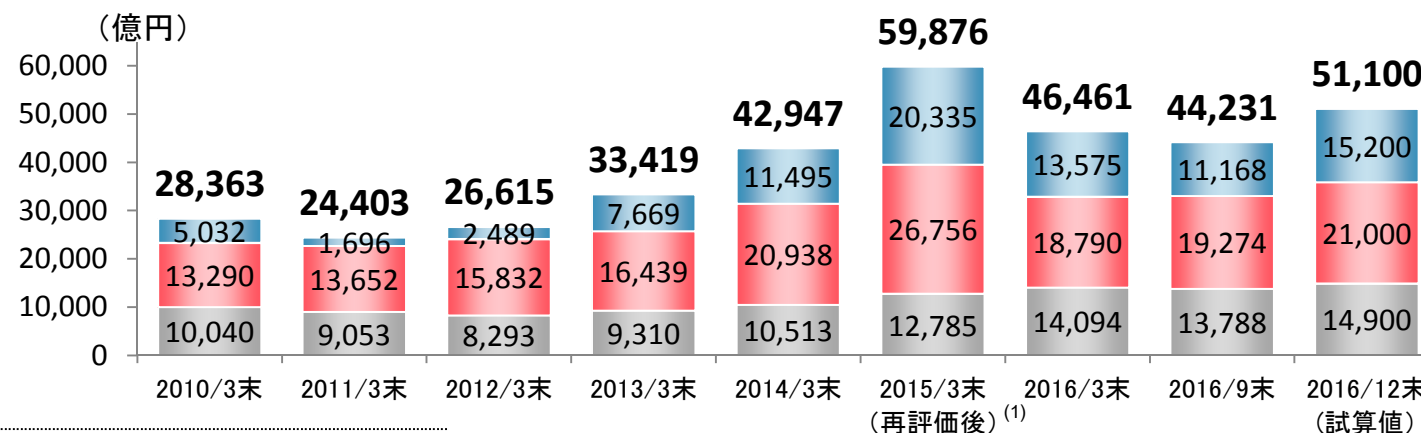
第一生命グループのEEV(億円、試算値)

資産・負債の対応を考慮した再分類

	16/9末	16/12末	増減
EEV	44,231	約51,100	約+6,900
対象事業のEEV	44,231	約53,100	約+8,900
修正純資産	62,283	約61,900	約△400
保有契約価値	△ 18,052	約△8,800	約+9,300
対象事業以外の調整額	-	約△2,000	約△2,000

	16/9末	16/12末
EEV	44,231	約51,100
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽²⁾	11,168	約15,200
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽³⁾	19,274	約21,000
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁴⁾	13,788	約14,900

第一生命グループのEEV推移【資産・負債の対応を考慮した再分類】



保有契約価値+含み損益等
: 保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等⁽²⁾

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽³⁾

純資産等+負債中の内部留保⁽⁴⁾
: 実現利益の累積額に相当

(1) 2015/3末のEVは、終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載しております。
(2) 第一生命が保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上しています。
(3) 保有契約価値に、第一生命の確定利付資産ならびに第一フロンティア生命およびネオファースト生命の資産の含み損益等を加算・調整した額を計上しています。本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります。
(4) 対象事業のEEVの修正純資産から含み損益を除いた額と対象事業以外の純資産等に係る調整を計上しています。



参考データ

参考データ - 第一生命財務諸表(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書 (1) (2)

	現第一生命 →		増減
	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	
経常収益	31,038	29,591	△1,446
保険料等収入	21,009	18,937	△2,072
資産運用収益	7,786	8,011	+224
うち利息・配当金等収入	5,891	5,644	△247
うち有価証券売却益	1,517	1,553	+35
うち特別勘定資産運用益	54	508	+453
その他経常収益	2,242	2,642	+400
経常費用	28,671	27,268	△1,402
うち保険金等支払金	20,060	17,180	△2,880
うち責任準備金等繰入額	1,318	2,451	+1,132
うち資産運用費用	1,796	1,762	△34
うち有価証券売却損	432	666	+233
うち有価証券評価損	13	107	+94
うち金融派生商品費用	445	4	△441
うち為替差損	392	452	+60
うち事業費	2,959	3,087	+128
経常利益	2,367	2,322	△44
特別利益	2	46	+44
特別損失	154	287	+132
契約者配当準備金繰入額	722	660	△61
税引前純利益	1,492	1,421	△70
法人税等合計	436	403	△33
純利益	1,055	1,017	△37

貸借対照表(2)

	現第一生命 →		増減
	16/3末	16/12末	
資産の部合計	358,949	361,371	+2,421
うち現預金・コール	6,452	6,964	+512
うち買入金銭債権	2,332	2,087	△244
うち有価証券	302,501	307,162	+4,660
うち貸付金	28,260	27,456	△804
うち有形固定資産	11,641	11,508	△132
負債の部合計	327,917	336,610	+8,692
うち保険契約準備金	306,352	308,186	+1,834
うち責任準備金	299,842	302,230	+2,388
うち危険準備金	5,760	5,895	+135
うち社債	2,157	4,762	+2,605
うちその他負債	10,950	14,925	+3,974
うち退職給付引当金	3,779	3,860	+80
うち価格変動準備金	1,484	1,599	+115
うち繰延税金負債	1,386	1,420	+33
純資産の部合計	31,031	24,761	△6,270
うち株主資本合計	11,755	5,473	△6,282
うち評価・換算差額等合計	19,266	19,287	+20
うちその他有価証券評価差額金	19,469	19,785	+316
うち土地再評価差額金	△164	△190	△26

- (1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。
- (2) 持株会社体制移行に伴う第一生命の考え方につきましては、詳しくは28ページをご覧ください。

参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書

(億円)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	増減
経常収益	15,203	8,669	△6,534
うち保険料等収入	14,517	7,238	△7,279
うち資産運用収益	685	1,430	+744
経常費用	14,704	8,265	△6,439
うち保険金等支払金	3,942	4,215	+272
うち責任準備金等繰入額	8,505	3,060	△5,445
うち資産運用費用	1,427	541	△886
うち為替差損	727	135	△592
うち事業費	743	404	△338
経常利益	498	403	△94
特別損益	△20	△24	△3
税引前純利益	477	378	△98
法人税等合計	43	41	△2
純利益	434	337	△96

貸借対照表

(億円)

	16/3末	16/12末	増減
資産の部合計	61,322	65,540	+4,217
うち現預金	1,184	1,156	△27
うち有価証券	58,365	60,641	+2,276
負債の部合計	60,463	64,649	+4,186
うち保険契約準備金	59,481	62,541	+3,060
うち責任準備金	59,411	62,468	+3,056
うち危険準備金	1,146	1,138	△8
純資産の部合計	859	891	+31
うち株主資本合計	427	765	+337
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,422	△1,084	+337

参考データ - 米プロテクティブ財務諸表(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書 (1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期 3Q累計 (2-9月)	17/3期 3Q累計 (1-9月)
経常収益	4,910	6,723
保険料等収入	3,373	3,973
資産運用収益	1,247	2,400
その他経常収益	289	349
経常費用	4,633	6,249
保険金等支払金	2,910	3,540
責任準備金等繰入額	464	1,609
資産運用費用	605	348
事業費	498	581
その他経常費用	155	168
経常利益	276	474
法人税等合計	89	152
純利益	187	320

貸借対照表 (1)(2)

(百万米ドル)

	15/12末	16/9末	増減
資産の部合計	68,493	76,154	+7,660
うち現預金	397	623	+225
うち有価証券	50,843	57,406	+6,562
うち貸付金	7,360	7,571	+211
うち有形固定資産	113	112	△1
うち無形固定資産	2,663	2,790	+127
うちのれん	732	732	-
うちその他の無形固定資産	1,915	2,041	+125
うち再保険貸	165	221	+55
負債の部合計	63,912	70,134	+6,221
うち保険契約準備金	57,893	60,870	+2,976
うち再保険借	244	242	△1
うち社債	2,238	4,244	+2,006
うちその他負債	2,409	2,810	+401
純資産の部合計	4,581	6,020	+1,439
株主資本合計	5,822	6,053	+231
その他の包括利益累計額合計	△1,241	△33	+1,207

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。

(2) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期3Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。

参考データ - 豪TAL財務諸表(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書 (1)(2)

(百万豪ドル)

	16/3期 3Q累計	17/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,378	2,718	+340
保険料等収入	2,229	2,473	+244
資産運用収益	21	183	+161
その他経常収益	127	61	△65
経常費用	2,249	2,559	+310
保険金等支払金	1,440	1,690	+250
責任準備金等繰入額	220	246	+26
資産運用費用	47	32	△15
事業費	459	504	+44
その他経常費用	81	85	+4
経常利益	128	159	+30
法人税等合計	29	46	+17
純利益	99	113	+13
修正利益 (Underlying profit)	140	133	△6

貸借対照表 (1)(2)

(百万豪ドル)

	16/3末	16/12末	増減
資産の部合計	7,043	7,247	+203
現預金	1,358	1,430	+72
有価証券	2,859	2,892	+33
有形固定資産	0	0	△0
無形固定資産	1,207	1,185	△21
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	420	399	△21
再保険貸	148	197	+49
その他資産	1,470	1,540	+70
負債の部合計	4,890	4,991	+100
保険契約準備金	3,491	3,623	+132
再保険借	332	308	△23
その他負債	978	970	△7
繰延税金負債	89	88	△0
純資産の部合計	2,152	2,255	+103
株主資本合計	2,152	2,255	+103
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	522	625	+103

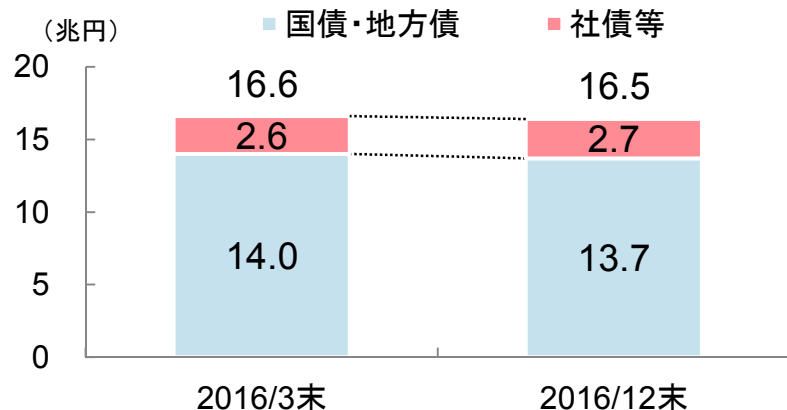
(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)。

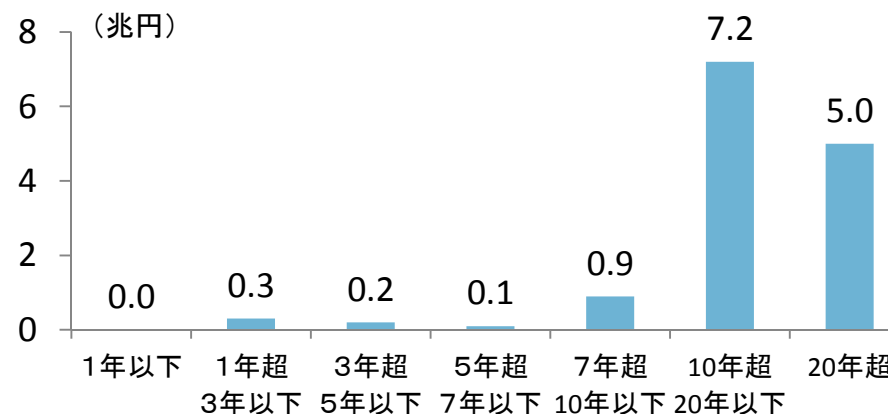


参考データ - 第一生命: 保有債券の状況

円建債券の内訳 (1)

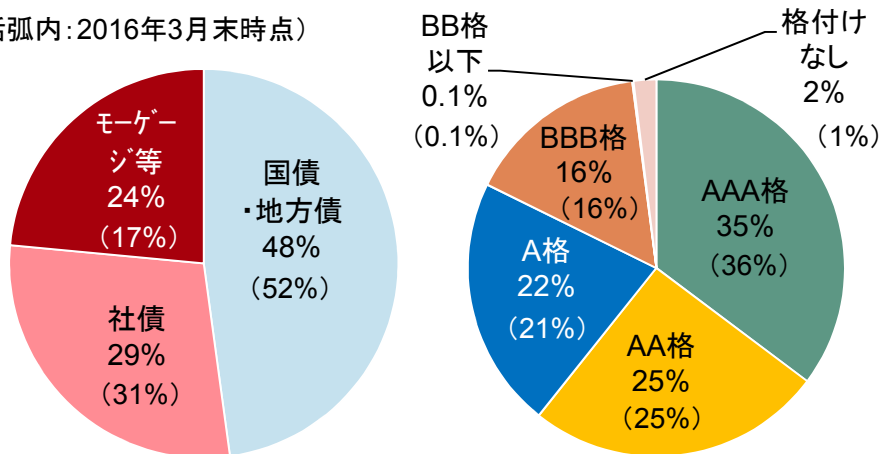


国債の残存期間別残高 (2) (2016年12月末)

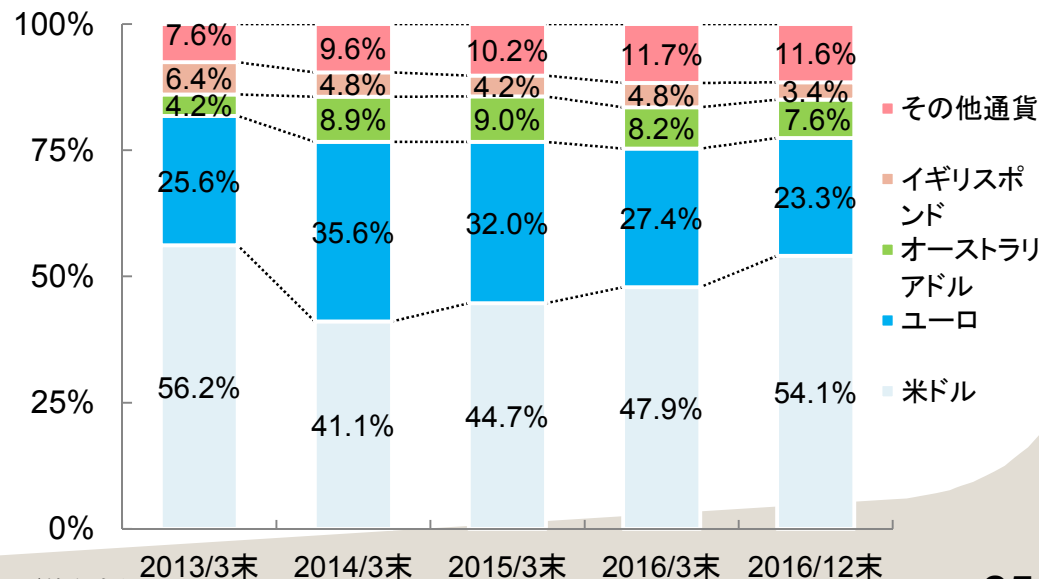


外貨建債券の内訳 (2)(3) (2016年12月末)

(括弧内: 2016年3月末時点)



外貨建債券の通貨別構成 (2)



(1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

参考データ - 金融市場への感応度(2016年12月末、第一生命)



Dai-ichi Life Holdings

	感応度 (1)	含み損益ゼロ水準 (2)
国内株式	<p>日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2016年3月末:1,700億円)</p>	<p>日経平均株価 ¥9,600 (2016年3月末:¥9,400)</p>
国内債券	<p>10年国債利回り 10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2016年3月末:2,900億円)</p> <p>※その他有価証券区分:300億円の増減 (2016年3月末:400億円)</p>	<p>10年国債利回り 1.3%※ (2016年3月末:1.3%)</p> <p>※その他有価証券区分:1.4% (2016年3月末:1.4%)</p>
外国証券	<p>ドル/円 1円の変動で 190億円の増減 (2016年3月末:290億円)</p>	<p>ドル/円 \$1 = ¥105 (2016年3月末:¥103)</p>

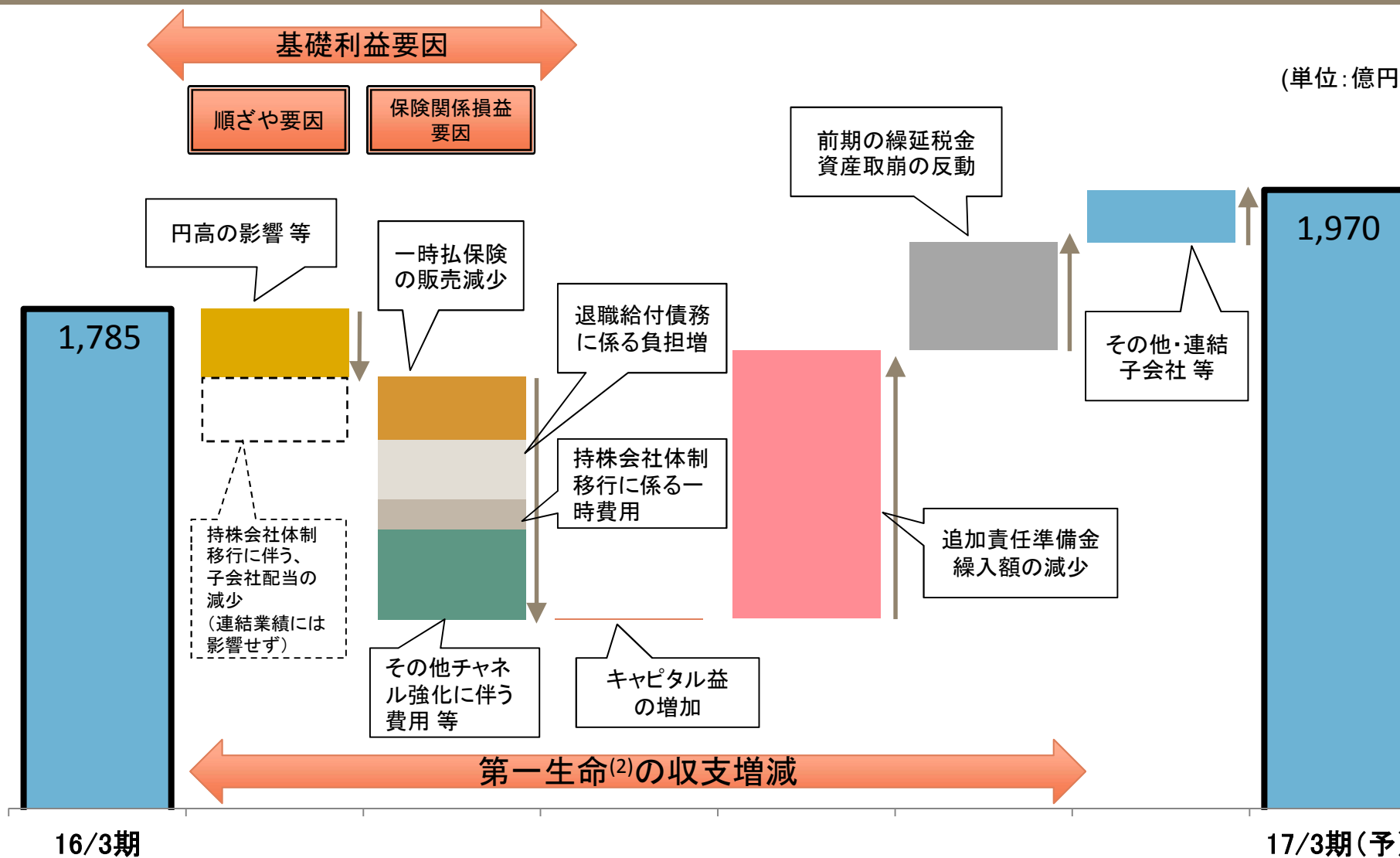
(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準



【再掲】連結純利益⁽¹⁾の増減要因分析(一時項目の影響)

(単位:億円)



(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。
 (2) 持株会社体制移行に伴う第一生命の考え方につきましては、詳しくは28ページをご覧ください。



【再掲】 持株会社体制への移行に伴う、第一生命の収支状況の開示

- 当プレゼンテーション資料で示している第一生命の2017年3月期業績予想は、持株会社体制移行前の第一生命単体(下図①)の上期業績予想に、持株会社体制移行後の第一生命(同④)の下期業績予想を合算したものです。第一生命分割準備株式会社(同②)が計上する損益は限定的です。
- 持株会社体制移行前の第一生命単体の利息配当金等収入の一部には子会社・関連会社から支払われた配当が含まれています。持株会社体制への移行に伴い、第一生命ホールディングス株式会社傘下となった第一生命をはじめとする子会社・関連会社の配当は、第一生命ホールディングスの利息配当金等収入として計上されます。その分第一生命の収益は減少しますが、連結収支に対する影響はありません。
- 第一生命ホールディングスの収支は、経常収益が子会社からの配当収入や経営管理料が主要項目となり、経常費用は持株会社運営費用が主要項目となります。第一生命ホールディングスの17年3月期の業績予想は(下図③)で示した通りです。
- なお、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、29ページをご覧ください。



(億円)		(億円)		(億円)		(億円)	
第一生命単体 2017年3月期 業績予想		【旧】第一生命(保険会社)① 2016年4月1日～2016年9月30日		【現】第一生命(保険会社)④ 2016年10月1日～2017年3月31日		第一生命ホールディングス (持株会社)③ 2016年10月1日～2017年3月31日	
経常収益	37,960	=		19,290	+	18,670	180
経常利益	3,240			1,660		1,570	120
当期利益	1,330			680		650	120



【再掲】 参考データ - 上場会社単体としての2017年3月期業績予想

- 当社は2016年10月1日付で持株会社体制へ移行しました。持株会社体制移行前は第一生命として上場しておりましたが、持株会社体制移行後は「第一生命ホールディングス株式会社」に商号変更の上、上場を継続しております。
- そのため、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、持株会社体制移行前の第一生命単体①の上期業績予想に第一生命ホールディングス③の業績予想を合算した数値となります。



(億円)		(億円)		(億円)		
上場会社単体 2017年3月期 業績予想		【旧】第一生命(保険会社)① 2016年4月1日~2016年9月30日		第一生命ホールディングス (持株会社)③ 2016年10月1日~2017年3月31日		
経常収益	19,470	=		19,290	+	180
経常利益	1,790	=		1,660	+	120
当期利益	810	=		680	+	120



本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社

経営企画ユニット IRグループ

電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2017年3月期第3四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

	(百万円)	2017年3月期			2016年3月期	2016年3月期
		第3四半期	前年同期比	前年度末比	第3四半期	第3四半期
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	297,709	+1.3	—	294,005	387,292
うち第一生命	(百万円)	124,662	+25.7	—	99,190	140,645
うち第三分野	(百万円)	42,394	+10.6	—	38,327	51,249
うち第一フロンティア生命	(百万円)	127,548	+6.5	—	119,711	153,832
うちプロテクティブ	(百万円)	23,125	△ 10.4	—	25,823	35,685
うちTAL	(百万円)	15,311	△ 65.6	—	44,446	49,484
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	3,469,940	+3.4	+2.2	3,356,647	3,396,202
うち第一生命	(百万円)	2,104,789	+2.6	+1.9	2,052,047	2,065,032
うち第三分野	(百万円)	596,517	+4.4	+3.5	571,472	576,556
うち第一フロンティア生命	(百万円)	676,185	+24.8	+19.5	541,953	565,838
うちプロテクティブ	(百万円)	439,817	△ 13.5	△ 14.0	508,651	511,128
うちTAL	(百万円)	222,423	△ 4.2	△ 3.3	232,266	229,956
連結保険料等収入	(百万円)	3,245,173	△ 22.1	—	4,166,355	5,586,000
うち第一生命	(百万円)	1,893,715	△ 9.9	—	2,100,946	2,866,602
うち個人保険分野	(百万円)	1,330,286	△ 3.7	—	1,381,736	1,923,189
うち団体保険分野	(百万円)	537,006	△ 22.3	—	690,972	908,513
うち第一フロンティア生命	(百万円)	723,878	△ 50.1	—	1,451,786	1,873,070
うちプロテクティブ	(百万円)	401,806	△ 0.7	—	404,737	565,658
うちTAL	(百万円)	208,650	+6.5	—	195,991	260,558
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	128,069,450	△ 3.4	△ 2.6	132,515,399	131,497,494
うち第一生命	(百万円)	120,835,173	△ 4.1	△ 3.1	126,011,342	124,721,652
解約・失効高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	3,524,361	△ 12.7	—	4,035,264	5,288,048
うち第一生命	(百万円)	3,390,656	△ 11.9	—	3,848,223	5,065,766
解約・失効率(国内グループ生保合算値)	(%)	2.68	—	—	2.96	3.87
うち第一生命	(%)	2.72	—	—	2.94	3.87

※前年同期比、前年度末比は増減比率

(注) 1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナムの6社。国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社

2. プロテクティブ及び第一生命ベトナムの決算日は12月31日

3. 新契約年換算保険料(以下、新契約ANP)及び保有契約年換算保険料(以下、保有契約ANP)のうち、プロテクティブは損害保険事業、TALは団体保険を含む

プロテクティブの損害保険事業:	2016年3月期第3四半期	新契約ANP 6,690百万円	保有契約ANP 28,415百万円
	2016年3月期	新契約ANP 8,931百万円	保有契約ANP 28,574百万円
	2017年3月期第3四半期	新契約ANP 6,277百万円	保有契約ANP 25,010百万円
TALの団体保険:	2016年3月期第3四半期	新契約ANP 29,167百万円	保有契約ANP 145,284百万円
	2016年3月期	新契約ANP 29,484百万円	保有契約ANP 142,765百万円
	2017年3月期第3四半期	新契約ANP △229百万円	保有契約ANP 131,167百万円

※TALの新契約ANPには、既契約における保険料改定等に伴う年換算保険料の増減を含む

4. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)

5. 保有契約高、解約・失効高、解約・失効率は個人保険+個人年金保険

6. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」は含まない。解約・失効率は契約高ベース

②資産の状況等
(連結)

		2017年3月期		2016年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	511,791	+2.5	499,249
実質純資産額	(億円)	101,049	△ 1.2	102,279
ソルベンシー・マージン比率	(%)	765.9	+2.1	763.8

(注) 2017年3月期第3四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益

		2017年3月期		2016年3月期 第3四半期累計期間	2016年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比		
グループ基礎利益	(百万円)	384,005	△ 8.4	419,261	535,139
うち国内グループ生保合算値	(百万円)	331,308	△ 9.1	364,576	467,443
うち第一生命	(百万円)	273,869	△ 17.5	331,855	465,441
うち第一フロンティア生命	(百万円)	61,751	+62.1	38,091	9,138
うちネオファースト生命	(百万円)	△ 4,311	△ 19.7	△ 5,370	△ 7,136
うち海外グループ生保合算値	(百万円)	52,696	△ 3.6	54,684	67,696

(注) グループ基礎利益には国内グループ生保の基礎利益、プロテクティブのOperating Income、TALのUnderlying Profit (税引前換算)、

第一生命ベトナムの税引前四半期純利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値を掲載

※前年同期比は増減比率

④基礎利益の内訳

(国内グループ生保合算値)

		2017年3月期		2016年3月期 第3四半期累計期間	2016年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比		
基礎利益	(百万円)	331,308	△ 9.1	364,576	467,443
うち最低保証に係る責任準備金等の増減による影響	(百万円)	26,282	+630.5	3,598	△ 39,558
うち基礎利益(最低保証に係る責任準備金等の増減による影響を除く)	(百万円)	305,026	△ 15.5	360,978	507,001

(注) 最低保証に係る責任準備金等の増減による影響とは、最低保証に係る責任準備金の増減による影響と、市場価格調整に伴う責任準備金の増減による影響を合算した数値

(最低保証に係る責任準備金等を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる)

⑤準備金(国内グループ生保合算値)

		2017年3月期		2016年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	35,767,288	+532,200	35,235,087
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	32,579,164	+453,461	32,125,703
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	3,188,123	+78,738	3,109,384
価格変動準備金	(百万円)	169,202	+13,955	155,246
危険準備金	(百万円)	703,888	+12,721	691,167
危険準備積立金	(百万円)	0	△ 43,120	43,120
価格変動積立金	(百万円)	0	△ 65,000	65,000

※前年度末比は増減額

⑥含み損益

		2017年3月期		2016年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
有価証券	(百万円)	5,740,346	△ 471,663	6,212,010
うち国内株式	(百万円)	1,610,628	+297,821	1,312,806
うち国内債券	(百万円)	3,502,961	△ 520,027	4,022,989
うち外国証券	(百万円)	586,643	△ 264,191	850,834
不動産	(百万円)	161,578	+31,236	130,341
その他共計	(百万円)	5,874,182	△ 460,464	6,334,647

(注) 1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

2. 第一生命の実績を掲載

※前年度末比は増減額

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2016年12月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	9,600
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	770
国内債券	(%)	1.3
外国証券	(円)	105

- (注)1. 国内株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出
 2. 国内債券は10年新発国債利回りで換算し、小数点第1位まで算出
 3. 外国証券はドル円換算にて算出
 4. 第一生命の水準を掲載

⑧金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
			第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間
変額年金保険	新契約件数	(件)	43,951	△ 58.9	106,941	132,755
	金額(収入保険料)	(百万円)	230,969	△ 63.4	630,799	775,443
定額年金保険	新契約件数	(件)	22,583	+140.3	9,399	12,912
	金額(収入保険料)	(百万円)	142,723	+219.0	44,745	61,252

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

※前年同期比は増減比率

			2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
			第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	10,540	△ 62.0	27,726	39,358
	金額(収入保険料)	(百万円)	81,879	△ 58.3	196,177	284,624
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	21,814	△ 62.0	57,460	74,755
	金額(収入保険料)	(百万円)	163,711	△ 61.1	420,462	550,027

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

※前年同期比は増減比率